

【高等部の生活課程の生徒からの質問】

質問 1)

歯科検診のときに歯科医が話している“アルファベット”にはどのような意味がありますか？
(2-2)

回答) 学校歯科医 永田 Dr. より

アルファベットは歯式番号。ABC の C がカリエスで虫歯。C1 から C4 まであり、C4 が悪い状態。

質問 2)

ふだんお薬をよく飲んでいますが、このお薬はどうやって作られているのですか？ (2-4)

回答) 学校薬剤師 井上 Dr. より

薬局で薬が出るのになぜ時間がかかるかというと、処方箋の保険番号を確認し、薬名、量、薬の記録を見て、あっているか？一日に飲む回数はあっているか？粉薬、水薬の量はあっているか？などの確認工程に時間がかかるため。

質問 3)

感染症の予防のために「手洗い・うがいをしましょう」とよく聞きますが、それは本当に効果はあるのですか？また、手洗いはせっけんを使わないと意味がないのですか？ (3-2)

回答) 学校医 辰見 Dr. より

・どの問題も「清潔」が前提。清潔の定義は消毒されていること。滅菌は何のためにするか？体の環境を保つため。手洗いには、日常的な手洗いと衛生的な手洗い、手術的な手洗いがある。ふだんの手洗いは何をどう使っているか。流水が一番良いが、流水だけで清潔が保てるか難しいこともある。石鹸、アルコール消毒も大切になってくる。デパ地下の入り口でアルコールをつける人を見ていると5秒くらいしかやっていない。15~20秒はやってほしい。手洗いもうがいも15秒は結構長い。

・ヨードチンキでのうがい15秒くらいが完璧。
・手洗い、うがいは必要。やり方をきちんとする。指先と指の間に菌が残る。感染症が多くなっているのがんばってやってください。

質問 4)

マスクをつけることはインフルエンザの予防になりますか？ (3-2)

回答) 学校医 辰見 Dr. より

・飛沫は1m、1秒間に数10cm落ちる。対象のウイルスの病原性に合わせてディスタンス（距離）を保つ。

・マスクで95%ブロックできる。ただし、きちんとつけないといけない。鼻の部分に隙間があるとウィークポイントになる。「やってる」と「やれてる」はちがう。

【教員からの質問】

質問5)

歯磨きのあとにうがいができない児童に対して「うがいの代わりにお茶を飲む」場面をよく見かけるのですが、この行為について医師の視点からご意見を伺いたいです。また歯磨き後に水分摂取をするのであれば、糖分を含まない水やお茶が望ましいでしょうか？（小学部教員）

回答）学校歯科医 永田 Dr. より

・うがいはできた方がよい。できないときは飲んで流すことができる。イソジンは効果があるが、口の中の細菌をやっつける。口の中は一定の菌が必要で、良い菌まで殺してしまう可能性がある。常在菌が変わってくる。変わることで悪い菌が繁殖してしまう。一時的なイソジンの使用はよいが、年中はよくない。

・歯磨き後のうがいは、水やお茶が望ましい。糖分を含むものは、菌のエサになるので、水分は水やお茶が良い。

質問6)

昼食のあとに歯磨きを「する」と「しない」とでは、虫歯になるリスクはどれくらい違うのですか？（高等部教員）

回答）学校歯科医 永田 Dr. より

虫歯になるリスクについてのスウェーデンの研究では、一日2回と3回の歯磨きの結果は大差がなかった。人によって磨き方が違うので3回の方が安全。できれば食後は磨いた方がよい。磨き方の学説は変化するが、今は食べたら磨きましょうとなっている。歯ブラシで物理的に歯の表面の悪さをする菌を取り除くことが大事。

質問7)

デパケンシロップ等の水薬を非常用として“携帯用醤油入れ”のような小さな容器に入れてかばんに入れている児童がいるが、この方法で保管している水薬をそのまま服用させても大丈夫なのか？よいのであれば、使用期限としてはどのくらいあるのか教えてください。（小学部教員）

回答）学校薬剤師 井上 Dr. より

小分けはお勧めできない。学校だと他の生徒が飲むと危険。管理できているか心配。そのままかばんの中に数か月はよくない。定期的に交換する。

質問8)

薬局で調剤された薬の使用期限はありますか？（例：シロップなどの水薬、錠剤、粉薬、座薬）また、どのくらいですか？（高等部教員）

回答）学校薬剤師 井上 Dr. より

薬の使用期限は未開封で3年から5年。薬局では開封しているので1年くらい。粉薬は3か月。軟膏チューブ等混ぜているものは3か月くらい。保管は光と湿度が大事。冷暗所のような涼しいところに保管する。

質問 9)

内科検診のときに、体のどのようなところを診ているのですか？（中・高教員）

回答) 学校医 辰見 Dr. より

・診察には、予診、視診、聴診、触診、打診があり、嗅覚も使って診察する。学校では先生の対応も見ている。診察で健康状態の 60% はわかる。話と見るだけで健康状態がわかる。
・喘鳴にも 2 つある。吸う・吐くの呼吸状態で気道狭窄が起こっている部位がわかる。6 割は目で見てわかる。

質問 10)

学校薬剤師の先生が学校でどのようなお仕事をされているのか具体的に知りたいです（薬剤師の先生が学校現場に関わってくださっていることをほとんど知りませんでした…）。（高等部教員）

回答) 学校薬剤師 井上 Dr. より

快適で安全な学校生活を送るために、学校保健衛生の維持管理をする。飲料水の検査、プールの水質検査、教室内の明るさ、空気の検査、給食室の衛生管理検査、保健室・理科室の医薬品の管理確認など。

質問 11)

支援学校の児童生徒の虫歯の特徴などがありますか？（高等部教員）

回答) 学校歯科医 永田 Dr. より

上あごが小さい。歯が並びきらず、ガタガタになり食べかすがたまりやすく虫歯になる。きれいな歯並びの人が圧倒的に少ない。咬み合わせも悪い。口の筋肉が弱い。口が開いた状態になりやすく、口の中が乾燥し、ばい菌が増加する。唾液があることが役立っている。唾液には免疫力がある。その他には、食いしばりが多い。歯が擦り減っている。もともと筋力が弱く、腕を上げられないため自力で磨くことが難しい人は虫歯リスクは高い。治療が難しくなるので、予防を徹底する。